

## 第16回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会及び三者意見交換会結果

(開催日：平成22年2月16日)

第16回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、各部会からの検討結果の報告があり、その後三者の意見交換会を行いました。

### 第16回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会

#### 1. 啓発活動部会からの報告・提案

平成22年度に行った三者が協働して取り組んだ「ごみ減量月間」、「ごみ減量の日」、「三者の意見交換会」について結果報告を行いました。また、今後取り組んで行く事項についても平成22年度における各事業提案があり、それぞれ了承を受けました。

##### (1) 平成22年ごみ減量月間の取組結果について

※別添の「平成22年度「ごみ減量月間」取組結果」をご覧ください

##### (2) 平成23年度のごみ減量月間の実施について

###### ① 街頭キャンペーンの実施

ごみの発生抑制を推進するため、買い物時のマイバッグ持参によるレジ袋ごみの削減の呼びかけを中心に、商店街などの街頭でごみ減量キャンペーンを行い、区民の意識啓発・行動促進を図っていく。

キャンペーンでは、ごみの減量に関するアンケートの実施とともに、マイバック又は3Rに関連した品物の配布を行い、ごみ減量を積極的に行うキャンペーンとしていく。

会場の設定については、前年度実施箇所を中心としつつ、マイバッグの利用促進策(買物ポイントの付与やマイバッグ利用特典商品の配布など)を実施する箇所や新たに実施を希望する地域・店舗も加味して選定していくこととする。

###### ② ごみ減量清掃フェアでのキャンペーンの実施

10月に実施される「ごみ減量・清掃フェア」会場にて街頭キャンペーンを実施して、ごみの減量を呼びかけていく。

###### ③ 産業フェアへの参加

産業フェアに参加し、体験型などのイベントを通じて、ごみの減量を呼びかけていく。

###### ④ PR活動について

ごみ減量月間のPRについては、ポスターを区掲示板に掲示しPRするとともに、推進協議会参加団体に掲示を呼びかけていきます。

また「広報かつしか」や葛飾区ホームページ、FMかつしかを通じて区民にお知らせしていく。

###### ⑤ ごみ減量月間に係る物品の提供協力

ごみ減量月間における物品の提供については、推進協議会に参加いただいている各企業等に協力を依頼していくこととし、協力いただいた団体や事業所については、月間内で配布するちらしにより団体や事業者のごみ減量に向けた取組をPRしていくこととする。

⑥ ごみ減量月間協力団体・事業者

ごみ減量月間の実施に際する、従事協力や会場の提供などについては、平成23年度についても協力を依頼していくこととする。

(3) 「ごみ減量の日」について

①平成22年度「ごみ減量の日」の取組について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成18年11月から毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取組内容を示し、区民へのちらしの町会回覧や区内事業者へのちらし配布等によって、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図ってきた。

平成22年度に呼びかけた取組内容

\*平成22年4月から9月までの取組内容

区民	容器包装の分別を徹底しましょう。
事業者（小売業）	容器包装の工夫でごみになるものを減らしましょう。
事業者（事業所）	再使用・リサイクルを念頭に事業活動を行いましょう。

\*平成22年10月から平成23年3月までの取組内容

区民	マイバッグを常に持ち歩きましょう。
事業者（小売業）	マイバッグの利用を呼びかけましょう。
事業者（事業所）	再生品を進んで利用しましょう。

②平成22年度「ごみ減量の日」のPRについて

(ア) 区民向けPR

ごみ減量に向けた自治町会連合会作成のちらしを作成し、回覧によるPRを行った。(4月、10月)

(イ) 事業者向けPR

東京商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会の協力により、事業者向けちらしを利用したPRを行った。ちらしの裏面を店内や事業所内に掲示できるポスター形式として、それを掲示することで区民へのPRにもつながるものとした。

(4月、11月)

(ウ) ごみ減量キャンペーンでのPRについて

「ごみ減量の日」前に行うごみ減量キャンペーンについては、キャンペーン会場にてパネルの展示などを行い、「ごみ減量の日」のPRも併せて実施した。

(エ) その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行った。また毎月1日から5日までは区役所入口にのぼり旗を掲げ、来庁者に対してPR活動を行った。

(4) 平成23年度の「ごみ減量の日」の取組について

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活

動を行うことにより効果的なPRを行っていきます。

\*平成23年4月から9月までの取組内容の提案

**【テーマ】紙類のごみを減らすことを中心とした提案**

**(区民の取組) リサイクルできる資源の分別に努めましょう。**

お菓子の箱やティッシュの箱、雑誌、ちらし、本などはリサイクルが可能な資源です。今葛飾区では燃やすごみの約14%にこのような資源となる紙類が混入しています。有効にリサイクルできる資源が燃やされてしまっていることになってしまうので、分別を確実にいき、リサイクルに結び付けましょう。

**(小売店の取組) 必要のない包装をしないように心掛けましょう。**

消費者が包装を必要ないと思っているのにも関わらず、包装されるので仕方がなく受け取っている場合もあるのではないのでしょうか。消費者が必要としない包装をすることは資源を無駄に使っていることとなります。包装が必要か一声掛けるなど、必要のない包装をしないように心がけて行きましょう。

**(事業所の取組) 廃棄物を少なくする工夫をしましょう。**

事業を行う上で、廃棄物が多いということは無駄が多いことにつながります。今の方法が本当に良い方法なのか、繰り返し使ったり再利用はできないかを考えて工夫しながら業務を行うことによって廃棄物は減っていくと思われま。

廃棄物を減らすことは、新たな資源を多く使わないことにもつながって行きます。廃棄物を減らす工夫をしましょう。

**(5) 区民・事業者・区による三者の意見交換会について**

ごみの減量に向けた具体的な行動についてテーマを絞って意見の交換を行うため、推進協議会参加メンバーである区民、事業者、区にコーディネーターとして学識経験者を加えた参加者による意見交換会を開催する。

それぞれの立場、役割を再認識し、相互理解を深めることでごみの減量やリサイクルの推進のための問題の解決や実現可能な具体的な行動を考え今後の推進協議会の活動の参考にしていく。

**①平成22年度区民・事業者・区による意見交換会について**

**(ア) 実施日**

・平成23年2月16日(水)

第16回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会終了後開催

・コーディネーター(学識経験者1名)の基調講演をもとに三者による意見交換を行う。

**(イ) テーマ**

新たなごみ減量プランで取り組む区民・事業者・区の役割と連携

～「葛飾区一般廃棄物処理基本計画(第3次)」の方向性について～

※今年度は、葛飾区で新たに「葛飾区一般廃棄物処理基本計画(第3次)」が策定され、新たなごみ減量計画に沿って処理がされることになる。今回は、新たなプランが向いている方向性を認識するとともに、区民、事業者、区の立場でそれぞれがどのような役割を担い、またそれぞれがどのような連携をしていくべきかについて意見を交わす。

(ウ) コーディネーター

崎田 裕子 氏 (ジャーナリスト、葛飾区リサイクル清掃審議会会長)

(エ) 聴講者募集

推進協議会活動のPRの一環として聴講希望者を広報紙で募集する(2月5日号で募集)。その他、清掃関係団体等にも聴講の案内をする。

(4) マイバッグ利用促進の取組について

①平成22年度の取組について

推進協議会では、毎年ごみ減量キャンペーンとしてマイバッグの配布を区内各所で行ってきた。しかし、マイバッグは利用されなければごみ減量につなげることができないため、新たにマイバッグ利用促進の取組を実施するものとした。平成22年度に試行的に実施している結果及び経過は次の通り。

(ア) 実施内容

区内の商店街でマイバックを持ってきてお買い物をしたお客様にスタンプカードを配布し、マイバッグを持参するたびにスタンプカードにスタンプを押して、ある一定のスタンプが貯まったら景品(リー(Ree)ちゃんペーパーティッシュペーパー6P)と交換する。

(イ) 実施場所 2商店街(お花茶屋商店街、千代田通商店街)

(ウ) 実施概要

【お花茶屋商店街】

- ・実施時期 平成22年10月23日(土)~11月20日(土)
- ・参加店舗 61件
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まるとリー(Ree)ちゃんペーパーと交換
- ・回収枚数 270枚
- ・実施した商店街の感想

お客様の中で、関心がある人と全く関心を示さない人との二極化していた。期間が短く、スタンプが30に満たない方が多くいたのもう少し長い期間で行った方が良いかも。このイベントをきっかけにレジ袋削減に商店街の中でも意識する店舗が増えた。今後も、環境に関することを絡めてイベントを行っていきたいと考えている。

【千代田通商店街】

- ・実施時期 平成23年2月~3月の間で実施予定
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。スタンプが貯まるとリー(Ree)ちゃんペーパーと交換(スタンプ数は検討中)

②平成23年度の取組について

平成23年度についても平成22年度に引き続きマイバッグ利用促進の取組を実施するものとする。

(ア) 取組内容

区内の商店街でマイバックを持ってきてお買い物をしたお客様にスタンプカードを

配布し、マイバッグを持参するたびにスタンプカードにスタンプを押して、ある一定のスタンプが貯まったら景品と交換する。

(イ) 対象 区内の2商店街（平成22年度実施箇所を中心に実施を打診する）

(ウ) 配布景品

スタンプカードのスタンプが貯まることにより、区内の古紙再生品であるリー（Ree）ちゃんペーパー（トイレットペーパーまたはティッシュペーパー6P）と交換ができる。交換ポイント数や配布を通年にするか、イベント時にするかは商店街により検討。

(エ) 区の支援

(i) スタンプカード・ステッカーの配付

参加してくれる商店街にはスタンプカードの印刷を区が行い、年間1,000枚配付する。併せて、店頭貼る啓発ステッカー50枚を配付する。

(ii) 景品の支援

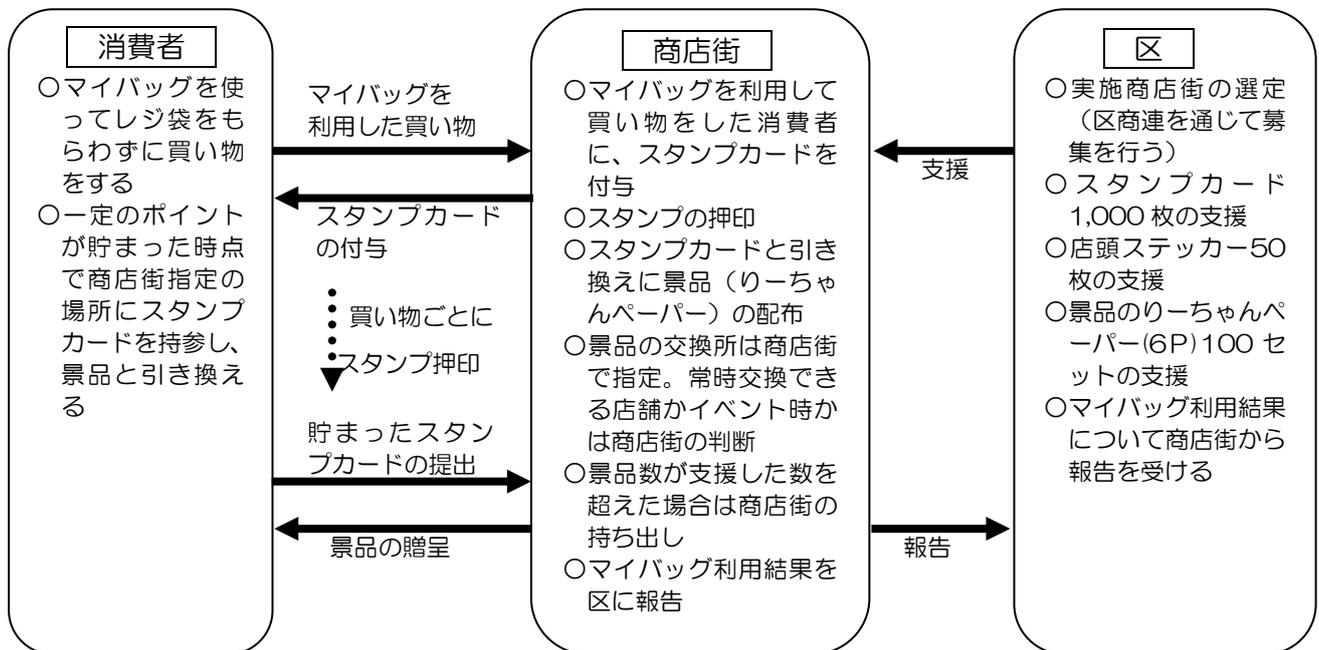
リー（Ree）ちゃんペーパー（6P）の100セット分の支援を行う。

区が購入し、現物を指定店に納入する。それ以上必要とする場合には商店街の持ち出し。

(オ) 実施結果の報告

この制度を活用した商店街には、マイバッグの利用率や景品配布数などの報告を受ける。その結果をもとに、今後のマイバッグ利用策を検討していく。

<マイバッグ利用促進の取組概念図>



(5) 推進協議会で進める新たな取組について

啓発活動部会で検討の中で、『雑紙（ざつがみ）』はどの様なものがそれにあたるのか、どの様にリサイクルに出してよいかわからないとの意見があり、このような事柄を区民や事業者に啓発していくことが最も効果があるのではないかという意見も出たことから、啓発活動部会として『雑紙』をテーマに具体的な啓発事項を検討していくこととした。

## 2. 区民活動部会からの報告・提案

第7回区民活動部会では第6回の部会で話し合って実施を決定した不要な容器包装の削減に向けた消費者のマナー向上の取組についての平成22年度の実施報告を行いました。また、区民活動部会で行う新たな取組についての検討も行いました。

### (1) 不要な容器包装の削減に向けたマナー向上のための取組についての検討

第6回区民活動部会において、部会員からの意見及び事業者活動部会のアンケート結果を参考とし、買い物についてのマナーを記載したちらしを作成し、マイバッグ持参キャンペーンでの配布および、スーパーや店舗などへ掲示について協力を依頼したことを報告した。

(チラシの内容)



(表) マイバッグでのお買い物の際のマナーについて

(裏) マイバッグ持参によるごみ減量等効果

- ☆キャンペーンでの配布 2,971 枚
- ☆小売店への配布 1,450 枚

### (2) 推進協議会で進める新たな取組についての検討

区民活動部会で検討の中で、「雑紙（ざつがみ）をどの様にリサイクルに出すか分からないのもっと啓発すべきだ」という意見や、生ごみが燃やすごみの40%を占め、そのうち水分を絞って5%減らすだけでごみ処理費が2200万円も安くなるとの話聞き、「区民はそのようなことを知らないで周知すべき」などの意見があった。

意見は多数出たが、区民への周知という点で「雑紙」が浸透していないこと、一人ひとりがリサイクルへまわすという簡単な行動で燃やすごみを減らすことができることから、「雑紙の回収促進」を中心に今後検討し、取り組んで行くこととなった。

### 3. 事業者活動部会からの報告・提案

#### (1) マイバッグの利用促進について

マイバッグの議論をするにあたり、マイバッグの利用形態やどのようなマイバッグなら使いやすいかのデータがないということから、前回の事業者活動部会で、マイバッグの利用に関する調査を実施するものとしていました。

今回、お買い物をしている区民に対しアンケートを実施したので、その結果を報告するもの。

#### (A) アンケートの実施概要

##### ①実施目的

事業者活動部会でマイバッグの利用促進策を考える上で、効率の良いマイバッグの利用促進策を効果的に実施するため、消費者の意向を把握する調査を行ない、マイバッグの利用実態を把握するとともに、データとして調査結果を見るとともに今後の取組を考えていくものとする。

##### ②実施日時・場所

(1日目)

実施日：平成22年11月19日(金) 午後4時～5時頃

実施場所：グルメシティ関東柴又店 入口付近

(2日目)

実施日：平成22年11月26日(金) 午後4時～5時頃

実施場所：イトーヨーカドー亀有駅前店 B1食品売り場

##### ③アンケート数

218枚(各箇所100枚を予定し実施)

##### ④アンケート実施方法

一般に買い物をしているお客様に対してアンケートへの協力を呼びかけた(区の職員及び日大学生で実施)。アンケートに答えていただいた方にはマイバッグ又はBOXティッシュを差し上げた。

##### ⑤レジ袋辞退率

当初、レジ袋の辞退率をレジ周辺でカウントする予定だったが、店舗のレジキーの管理で辞退率がわかるため、各店舗からの報告を辞退率とした。

○グルメシティ関東柴又店 26%

○イトーヨーカドー亀有駅前店 36.3%

#### マイバッグの利用マナーについてのちらしの配布

今回の調査に併せて、マイバッグの利用マナーやレジ袋削減についてどのような効果があるのかを数値化した区民活動部会作成のちらしを配布しました。

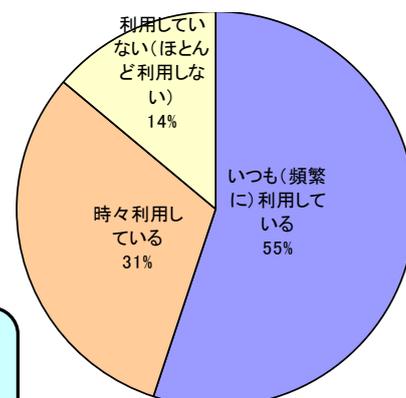
その他、このちらしをごみ減量キャンペーンで配布するマイバッグとともに配ったり、事業者活動部会の店舗などに送付し、掲示・配布の依頼をいたしました。

(B) アンケート結果 (アンケート総数 218 名)

【問1】お買い物の際にマイバッグ (エコバッグ) を利用していますか。

- ①いつも (頻繁に) 利用している…… 55.0%
- ②時々利用している…… 31.2%
- ③利用していない (ほとんど利用しない)…… 13.8%

マイバッグの利用の割合



【問2】問1で「①」又は「②」とお答えいただいた方にお伺いします。マイバッグを利用している理由はどのようなことからですか。(複数回答可)

- ①割引 (ポイント) があるから…… 48.1%
  - ②余分なレジ袋をもらうとごみになってしまうから…… 52.9%
  - ③マイバッグの方が利用しやすいから…… 21.2%
  - ④特に意識していない…… 7.4%
  - ⑤その他…… 2.6%
- (意見) 買い物の量が多いときに使う、エコを意識して 等

【問3】問1で「③」とお答えいただいた方にお伺いします。マイバッグを利用しない理由はどのようなことからですか。(複数回答可)

- ①レジ袋をもらえるから…… 44.8%
  - ②マイバッグを持ち歩きたくないから…… 17.2%
  - ③適当なマイバッグを持っていないから…… 34.5%
  - ④その他…… 13.8%
- (意見) うっかり持ってこないことがある、忙しいから 等

【問4】マイバッグを利用しやすいお店はどのような環境ですか。(複数回答可)

- ①マイバッグの利用を促進する掲示がある…… 34.9%
- ②マイバッグを使うと割引やポイントが貯まるサービスがある…… 69.3%
- ③レジでレジ袋が必要かどうか声をかけてくれる…… 33.5%
- ④マイバッグで持ち帰りやすい商品の包装をしている…… 14.2%
- ⑤その他…… 1.4%

(意見) ビニールは持ちにくくて嫌いなので、関係なくマイバッグを持っている

【問5】使いやすいと思うマイバッグはどの様なタイプのものですか。

(複数回答可)

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| ①お店のカゴにすっぽり入る大き目のタイプ | …… 20.4% |
| ②肩から上げられる中ぐらいのタイプ    | …… 49.3% |
| ③手で持つ小さめのタイプ         | …… 9.0%  |
| ④折りたためていつでも持ち歩けるタイプ  | …… 62.1% |
| ⑤絵柄などのデザインが優れているタイプ  | …… 11.8% |
| ⑥その他                 | …… 3.3%  |

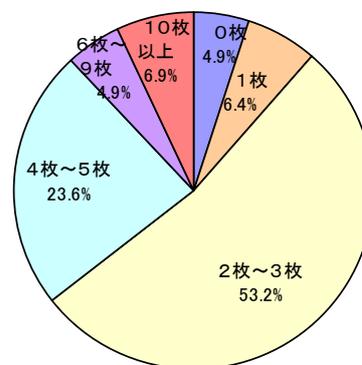
(意見) リュックサック、丈夫、自転車のカゴのサイズに合うもの

【問6】自宅に何枚ぐらいのマイバッグをお持ちですか。

- |       |          |
|-------|----------|
| 0枚    | …… 4.9%  |
| 1枚    | …… 6.4%  |
| 2枚～3枚 | …… 53.2% |
| 4枚～5枚 | …… 23.6% |
| 6枚～9枚 | …… 4.9%  |
| 10枚以上 | …… 6.9%  |

(※20枚が最高枚数2名)

マイバッグを持っている枚数



【問7】レジ袋の削減のためにはどのようなことが必要と思いますか。

(複数回答可)

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| ①レジ袋削減の呼びかけや広報紙などによる啓発活動の取組   | …… 31.1% |
| ②レジでの声掛けや割引サービスなど事業者による積極的な取組 | …… 54.1% |
| ③マイバッグを常に持ち歩くなど、消費者の自主的な取組    | …… 55.0% |
| ④その他                          | …… 3.3%  |

(意見) エコに関心があること、レジ袋の有料化、最初からマイバッグだけにする。

【問8】もし、レジ袋が有料(5円程度)になった場合はどうしますか。

(複数回答可)

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| ①有料であってもレジ袋を買う            | …… 7.6%  |
| ②レジ袋をもらわないでマイバッグなどを利用する   | …… 70.5% |
| ③そのときの状況により、買ったり買わなかったりする | …… 23.3% |
| ④レジ袋が有料でないお店での買い物をする      | …… 6.2%  |
| ⑤その他                      | …… 0.5%  |

【問9】レジ袋や容器包装についてご意見などありましたらご記入ください。

マイバッグに対して

- ・エコバッグは皆たくさん持っているので、レジ袋配布は取り止める。
- ・マイバッグは簡単に持ち歩き出来るものが良い。
- ・皆がマイバッグを持っていくようにしたらごみが減ると思う。

レジ袋に対して

- ・皆でレジ袋を使いあう社会にすれば役立つ。
- ・大きなレジ袋はごみ収集に役立つので大きなものは集め、小さいものは水物とか入れる時水漏れ防止に役に立つ。
- ・有料にするのは良いことだと思う。
- ・買い物の量によってレジ袋を出す枚数を考えると良いと思う。
- ・レジ袋の紐を長くして肩にかけられるようにすると良い。
- ・食品以外の商品をわざわざ違うレジ袋に入れなくても良いと思う。
- ・大きいレジ袋があれば、後の買い物のときもその中に入れられる。

容器包装に対して

- ・レジ袋は無駄だけど、容器は商品を守るためにも必要。
- ・水分がこぼれ出ない包装の工夫をして欲しい。だからと包装をしすぎずには…
- ・鋭い角の物等容器に工夫をして欲しい。

その他

- ・消費者として自覚を持つことが大切。
- ・マイバッグデーなどには特別に割引金額を上げるなど工夫すればよい。

## マイバッグ利用状況アンケート調査のまとめ

実施した日時が両方とも金曜の夕方ということで、比較的マイバッグ持参者の多い時間帯であり、約85%の方がマイバッグを利用している結果となった。ただ、レジ袋の辞退率とは数値が離れており、他の時間帯がマイバッグ利用率が少ない、もしくはマイバッグを持っていてもレジ袋は辞退していないということも多いのではないかと考えられる。

また、レジ袋辞退者の多くは「割引（ポイント）があるから」と「余分なレジ袋をもらうとごみになってしまうから」がともに50%前後の割合で主な理由となっており、かなり大きな動機付けとなっている。一方、マイバッグを使わない人は「レジ袋をもらえるから」「適当なマイバッグを持っていない」という理由が多かった。

マイバッグを利用しやすい環境については、「マイバッグを使うと割引やポイントが貯まるサービスがある」が約70%を占め、ポイントや割引のサービスが一番効果が現れやすい結果となっている。その他でも、「マイバッグの利用を促進する掲示がある」「レジでレジ袋が必要かどうか声をかけてくれる」ということに対しても30%を超える回答があり、このような取組みもマイバッグ利用促進に効果があると考えられる。

使いやすいマイバッグのタイプは、「折りたためていつでも持ち歩けるタイプ」（62.1%）や「肩から提げられる中ぐらいのタイプ」（49.3%）が多く、持ち運びやすさ、使いやすさが求められている。

マイバッグの所持枚数については、0枚～1枚の人は約10%で、多くの方が複数枚のマイバッグを持っている結果となっており、利用促進に力を入れていくことで効果が上がる可能性は高いものと思われる。

レジ袋の削減のために必要なこととして、「レジでの声掛けや割引サービスなど事業者による積極的な取組」とともに「マイバッグを常に持ち歩くなど、消費者の自主的な取組」との回答が50%を超えており、事業者・消費者ともに積極的な取組みをしていくことが必要であると感じていることがうかがえる。

レジ袋が有料になった場合の消費者の行動については、「レジ袋をもらわないでマイバッグなどを利用する」が約70%を占めており、「レジ袋が有料でないお店での買い物をする」とその店自体を敬遠してしまう確率は6.2%と低いものとなっており、レジ袋の有料化があった場合にはマイバッグで対応すると考えている傾向が強い。

ごみ減量の意識の高い消費者が買い物をしている時間帯の調査であったが、全体的に消費者はごみ減量に対する意識を持っており、ごみ減量のためにマイバッグの利用に対する理解は高いものと思われる。

事業者側がマイバッグを使いやすい環境を作ることによって、この意識の高さをマイバッグの利用に結びつけることは可能であると考えられる。

(2) 推進協議会で今後進めていく新たな取組について（事業者活動部会）

事業者活動部会で検討の中で、「区民は紙類やプラスチック容器包装をどの様に分類して良いかが分からない方が多い」という意見や、「事業者としてはごみ自体を最初からなるべく出さない対策をしている」との意見があった。

議論をした結果、事業者としても14%ある雑紙の減量を図っていくことはごみ減量に大きい役割を果たすので、区民に浸透していない「雑紙（ざつがみ）」について取組みを検討していくこととした。

4. 各団体が行う通年の取組について報告・提案

(1) 平成22年度における各団体の取組結果について

推進協議会の各部会による取組みの他に、参加団体が率先して自主的な取組みを行ってもらうこととしている。平成22年度は、以下のような自主的な取組を予定していた。

①各団体の自主的な取組

団体名	取組内容
葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水切りの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会	古紙の再利用促進、マイバッグの利用促進
集団回収団体	自主的な資源回収行動の更なる推進
東京商工会議所葛飾支部 葛飾区工場団体連合会 葛飾区玩具産業連合会 東京都電機商業組合葛飾支部 かつしか異業種交流会	ちらし配付による働きかけ
葛飾区商店街連合会	ちらし配付による働きかけ 常任理事会等における働きかけ
かつしかエフエム 株式会社JCNコアラ葛飾	放送による働きかけ

②区民に対する意識啓発・行動促進（平成22年10月実施、平成23年3月予定）

葛飾区自治町会連合会を通じて、「ごみ減量の日」のPRや、生ごみの水切りなどによるごみの減量を、回覧板により呼びかけた。

③事業者に対する意識啓発・行動促進（平成22年11月実施、平成23年3月予定）

東京商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会を通じて、「ごみ減量の日」のPRやごみの減量を、ちらしの配布・掲示により呼びかけた。

(2) 平成22年度における区の実績について

区は、各団体の取組について、協働して実施した。また、各団体の取組について、推進協議会の参加団体が率先して取り組む事業として区のホームページなどを利用し

て区民へ周知し、区民のごみの減量、リサイクル推進の意識啓発・行動促進を図った。

① 駅広報スタンドを利用したちらしの配布（平成 22 年 3 月予定）

区内各駅に設置してある広報スタンドを利用して区民向け啓発ちらしを配布することで、「ごみ減量の日」のPRや発生抑制を中心とした、ごみの減量への意識啓発・行動促進を図る。

② スポットCM（かつしかエフエム）の作成・放送

かつしかエフエムでスポットCMを作成・放送しごみ減量の意識啓発や推進協議会のPRを行った。（平成 22 年 6 月、10 月実施、平成 23 年 3 月予定）

③ 区ホームページ等による推進協議会の活動のPR（通年）

区ホームページ等により、推進協議会や目的別部会、各団体の自主的な取組、ごみ減量キャンペーンについてPRを行った。

(3) 平成 23 年度の通年の取組について

これまで以上にごみの発生抑制やリサイクルの推進を図るため、区民・事業者の自主的なごみ減量への取組について協議し、活動の充実していく。

① 各団体における自主的な取組について

各団体の自主的な取組により、ごみ減量の意識の全区的な広がりを図っていく。

葛飾区自治町会連合会 葛飾清掃協力会 葛飾東清掃協力会	水切りの徹底による生ごみの減量
葛飾区消費者団体連合会 集団回収団体	古紙の再利用促進、マイバッグの利用促進 自主的な資源回収行動の更なる推進
葛飾区商店街連合会 東京商工会議所葛飾支部 葛飾区工場団体連合会 葛飾区玩具産業連合会 東京都電機商業組合葛飾支部 かつしか異業種交流会	ちらし配付による働きかけ 常任理事会等におけるごみ減量の働きかけ
かつしかエフエム 株式会社 JCN コアラ葛飾	放送や情報誌への掲載による働きかけ

② 区民に対する意識啓発・行動促進

葛飾区自治町会連合会を通じて、年 2 回の回覧板によりごみの減量やリサイクルの推進を呼びかける。

③ 事業者に対する意識啓発・行動促進

東京商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会を通じて、年 2 回各事業者に対して啓発ちらしを配付し、事業系ごみの減量を中心とした内容で呼びかける。

④ 区における取組について

広報かつしかや区ホームページの利用、啓発ちらしの駅広報スタンドを利用した配

布、さらにメディアを活用など、様々な媒体を活用したPRを充実することで、ごみの減量、リサイクル推進の意識啓発・行動促進を図る。

また、各団体における取組のPR機会の確保し、対外的に発信していくことで、各団体のイメージにつなげるとともに、他団体への意識啓発・行動促進を図る。

## 5. その他

### (1) 葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）について

平成23年4月に策定される、葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）の概要について説明を行った。

### (2) かつしかエコライフプラザの設置について

平成23年6月に開設される「かつしかエコライフプラザ」の概要について説明を行った。